

## 第2章

## 【教育活動の定期的な振り返りと更なる充実】実践例

### 成果と課題を明確にし、更なる充実につなげる取組 ～山鹿市立鹿本小学校～

教育活動の実施状況を定期的に振り返り成果と課題をまとめることで、教職員間での共有が図られ、改善に向けた取組につなげている。また、そのことで次学期に向けた改善が明確になり、教育活動の質の高まりにつなげている。



【「あいうえおの学校」について記載した学校新聞】

開校初年度に当たり、年度初めに「どんな学校を目指したいか」というテーマで全職員参加のワークショップを行いました。その際に、鹿本小の子供、地域の実態、先生方の思いを出し合い、目指す学校像、子供像を共有しました。そこで「みんなで創ろう あいうえおの学校」という教育スローガンが誕生しました。

学期ごとに「あいうえおの子供たちであったか」「あいうえおの教職員であったか」という視点で振り返り、今後の指導の重点を全教職員で共通理解を図っています。

#### これまでの取組の成果

- あいうえおの教育スローガンのもと、「授業」「鹿本小スタンダード」「行事」「児童会活動」を通して子供を育てている。
- 毎日の授業の充実と学習スタンダードの徹底、ミニパワー、学力充実タイムの充実と、個に応じた指導の工夫。県学調では全ての学年、教科で山鹿市、県及び全国を上回ることができた。
- 鹿本小スタンダードの徹底（挨拶運動、鹿本タイム、かかと揃え、チャイムスタート、廊下右側歩行、無言掃除、無言集合、全職員での一斉下校等）
- 運動会、合唱祭、マラソン大会等の行事への全力の取組。一生懸命な姿、笑顔、達成感、協力、思いやりの心の育成。
- あいうえおの学校づくりに向けた児童会のリーダーシップと、各委員会の具体的な取組。6年生を中心に新しい学校文化を創っていくことができた。

#### 継続指導でさらなる向上を

【取組の成果と課題を全職員で振り返り、次の共通実践へ】